

温対法における特定排出者の他の者から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素排出量の算定等に用いられる排出係数
(令和〇〇年度実績)

日付
事業者名
営業地域名

基礎排出係数(t-CO2/GJ) = (一次基礎二酸化炭素排出量 - 国内認証排出削減量調整無効化量^(注1) + 自らが製造した再生可能エネルギー熱に係る国内認証排出削減量を他の者に移転した量) ÷ 販売熱量

(注1) 再生可能エネルギー熱に係るものに限る。

調整後排出係数(t-CO2/GJ) = (一次調整後二酸化炭素排出量 - 国内認証排出削減量調整無効化量^(注2) - 海外認証排出削減量調整無効化量) ÷ 販売熱量

(注2) 電気に係る国内認証排出削減量等及び他の者に移転した国内認証排出削減量を除く。

【事業者別または営業地域別】

【販売熱量(GJ)】	【二酸化炭素排出量(t-CO2)】	【二酸化炭素排出係数(t-CO2/GJ)】
販売熱量※	一次基礎二酸化炭素排出量	
	0	
	基礎二酸化炭素排出量	基礎排出係数
	0	0.0000
	一次調整後二酸化炭素排出量	
	0	
	調整後二酸化炭素排出量	調整後排出係数
	0	0.0000

※販売熱量には自社他地域への熱融通量を含む(以降同様)

【前年度報告との比較・分析】

販売熱量(GJ)	二酸化炭素排出量(t-CO2)	二酸化炭素排出係数(t-CO2/GJ)	差異分析
	(基礎二酸化炭素排出量)	(基礎排出係数)	
	(一次調整後二酸化炭素排出量)		
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)	

熱の製造に伴い排出された一次二酸化炭素排出量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

1. 自ら製造した熱

ア. 熱製造に用いた燃料

①燃料使用量が判明する場合

二酸化炭素排出量 = 燃料使用量 × 燃料種別発熱量 × 燃料種別排出係数 × 44 / 12

②燃料が都市ガスの場合

二酸化炭素排出量 = 都市ガス使用量 × 調達先の事業者別排出係数^(注1)

(注1)一次基礎二酸化炭素排出量を求めるには事業者別基礎排出係数を、一次調整後二酸化炭素排出量を求めるには事業者別調整後排出係数を用いる。

<燃料種と使用量>

燃料種	燃料使用量	燃料種別発熱量	総発熱量(GJ)	燃料種別排出係数(t-C/GJ)	二酸化炭素排出量(t-CO2)
輸入原料炭	t	28.7 GJ/t	0.0	0.0246	0
コークス用原料炭	t	28.9 GJ/t	0.0	0.0245	0
吹込用原料炭	t	28.3 GJ/t	0.0	0.0251	0
輸入一般炭	t	26.1 GJ/t	0.0	0.0243	0
国産一般炭	t	24.2 GJ/t	0.0	0.0242	0
輸入無煙炭	t	27.8 GJ/t	0.0	0.0259	0
石炭コークス	t	29.0 GJ/t	0.0	0.0299	0
石油コークス又はFCCコーク	t	34.1 GJ/t	0.0	0.0254	0
コールタール	t	37.3 GJ/t	0.0	0.0209	0
石油アスファルト	t	40.0 GJ/t	0.0	0.0204	0
コンデンサート(NGL)	kl	34.8 GJ/kl	0.0	0.0183	0
原油	kl	38.3 GJ/kl	0.0	0.0190	0
揮発油	kl	33.4 GJ/kl	0.0	0.0187	0
ナフサ	kl	33.3 GJ/kl	0.0	0.0186	0
ジェット燃料油	kl	36.3 GJ/kl	0.0	0.0186	0
灯油	kl	36.5 GJ/kl	0.0	0.0187	0
軽油	kl	38.0 GJ/kl	0.0	0.0188	0
A重油	kl	38.9 GJ/kl	0.0	0.0193	0
B・C重油	kl	41.8 GJ/kl	0.0	0.0202	0
潤滑油	kl	40.2 GJ/kl	0.0	0.0199	0
液化石油ガス(LPG)	t	50.1 GJ/t	0.0	0.0163	0
石油系炭化水素ガス	千m3	46.1 GJ/千m3	0.0	0.0144	0
液化天然ガス(LNG)	t	54.7 GJ/t	0.0	0.0139	0
天然ガス	千m3	38.4 GJ/千m3	0.0	0.0139	0
コークス炉ガス	千m3	18.4 GJ/千m3	0.0	0.0109	0
高炉ガス	千m3	3.2 GJ/千m3	0.0	0.0264	0
発電用高炉ガス	千m3	3.5 GJ/千m3	0.0	0.0264	0
転炉ガス	千m3	7.5 GJ/千m3	0.0	0.0420	0
RDF	t	18.0 GJ/t	0.0	0.0162	0
RPF	t	26.9 GJ/t	0.0	0.0166	0
廃タイヤ	t	33.2 GJ/t	0.0	0.0135	0
廃プラスチック(一般廃棄物)	t	29.3 GJ/t	0.0	0.0257	0
廃プラスチック(産業廃棄物)	t	29.3 GJ/t	0.0	0.0239	0
廃油又は廃油から製造された燃料炭化水素油	kl	40.2 GJ/kl	0.0	0.0179	0
廃プラスチック類から製造された燃料炭化水素油	kl	38.0 GJ/kl	0.0	0.0188	0
小計	-	-	-	-	0
うち調整後二酸化炭素排出量	-	-	-	-	0

<都市ガスを使用している場合>

ガス事業者の名称	都市ガス使用量(千m3)	事業者等別基礎排出係数(t-CO2/千m3)	一次基礎二酸化炭素排出量(t-CO2)	事業者別調整後排出係数(t-CO2/千m3)	一次調整後二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0	-	0

イ 熱製造に用いた電気

①電気事業者から電気を購入し、事業者等別二酸化炭素排出係数が判明する場合(固定価格買取制度及びFIT非化石電源より調達したものを除く)

二酸化炭素排出量 = 調達電力量 × 事業者等別二酸化炭素排出係数

事業者の名称	調達電力量(kWh)	事業者等別基礎排出係数(t-CO2/kWh)	一次基礎二酸化炭素排出量(t-CO2)	事業者等別調整後排出係数(t-CO2/kWh)	一次調整後二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0	-	0

①'電気事業者以外から電気を購入し、事業者等別二酸化炭素排出係数が判明する場合(固定価格買取制度及びFIT非化石電源より調達したものを除く)

二酸化炭素排出量 = 調達電力量 × 事業者等別二酸化炭素排出係数

事業者の名称	調達電力量(kWh)	事業者等別基礎排出係数(t-CO2/kWh)	一次基礎二酸化炭素排出量(t-CO2)	事業者等別調整後排出係数(t-CO2/kWh)	一次調整後二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0	-	0

②事業者等別二酸化炭素排出係数が判明しない場合(固定価格買取制度で電気調達したものを除く)

二酸化炭素排出量 = 調達電力量 × 代替値

事業者の名称	調達電力量(kWh)	代替値(t-CO2/kWh)	二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0

2. 他の方から供給された熱(自社他地域からの熱融通も含む)

①提供された熱の生成に用いた燃料や電気等の情報が特定できる場合

二酸化炭素排出量 = 調達熱量 × 情報に応じ算出できる排出係数

事業者の名称	調達熱量(GJ)	情報に応じ算出できる排出係数(t-CO2/GJ)	一次基礎二酸化炭素排出量(t-CO2)	情報に応じ算出できる調整後排出係数(t-CO2/GJ)	一次調整後二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0	-	0

②提供された熱の生成に用いた燃料や電気等の情報が特定できない場合

二酸化炭素排出量 = 調達熱量 × 代替値

事業者の名称	調達熱量(GJ)	省令の排出係数(t-CO2/GJ)	二酸化炭素排出量(t-CO2)
小計	0	-	0

自ら製造した熱のうち、コジェネレーションシステムを活用して製造した熱
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

当該コジェネレーションシステムの燃料と使用量

燃料の種類	
燃料使用量	千m3
二酸化炭素排出量(t-CO2)	

←左セルに表1の「燃料種と使用量」に準じて単位を記載のこと

	出力(2次エネルギー)		出力を得るのに必要となる投入量(1次エネルギー)		二酸化炭素排出量(t-CO2)
電気	0	kWh		MJ	0
うち熱源用		kWh		MJ	0
うちその他		kWh		MJ	0
熱		MJ		MJ	0

自社保有設備の実効率(MJ/MJ)	
-------------------	--

備考

※当該コジェネレーションシステムが、その生成した電気を他の者に供給し、その際に発生した二酸化炭素排出量が電気事業者の事業者ごとの排出係数の計算又は特定排出者の排出量計算に用いられている場合はその旨を記載すること。

自ら排出量調整無効化したJクレジット制度等^(注1)による認証排出削減量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

	削減量の種別	再エネ電気 ^(注2) に係る排出量調整無効化量(t-CO2)	再エネ熱 ^(注3) に係る排出量調整無効化量(t-CO2)	他の排出量調整無効化量(t-CO2)	特定番号	排出量調整無効化日
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
合計		0	0	0		

(注1) 通達別紙1に定めるJクレジット制度、国内クレジット制度、オフセット・クレジット制度をいう。

(注2) 太陽光、風力その他の再生可能エネルギー源を電気に変換する設備及びその附属設備を用いて再生可能エネルギー源を変換して得られる電気をいう。

(注3) 太陽光、風力その他の再生可能エネルギー源を熱に変換する設備及びその附属設備を用いて再生可能エネルギー源を変換して得られる熱をいう。

※本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他の者が排出量調整無効化したJ-クレジット制度等^(注1)による認証排出削減量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

	代理償却者 ^(注2)	削減量の種別	再エネ電気 ^(注3) に係る排出量調整無効化量(t-CO2)	再エネ熱 ^(注4) に係る排出量調整無効化量(t-CO2)	他の排出量調整無効化量(t-CO2)	特定番号	排出量調整無効化日
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
合計			0	0	0		

(注1) 通達別紙11に定めるJクレジット制度、国内クレジット制度、オフセット・クレジット制度をいう。

(注2) 代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること。

(注3) 太陽光、風力その他の再生可能エネルギー源を電気に変換する設備及びその附属設備を用いて再生可能エネルギー源を変換して得られる電気をいう。

(注4) 太陽光、風力その他の再生可能エネルギー源を熱に変換する設備及びその附属設備を用いて再生可能エネルギー源を変換して得られる熱をいう。

※本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自ら排出量調整無効化した海外認証排出削減量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

	削減量の種別	排出量調整 無効化量(t-CO2)	識別番号	排出量調整 無効化日
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
合計		0		

※本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他の者が排出量調整無効化した海外認証排出削減量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

	代理償却者 ^(注1)	削減量の種別	排出量調整 無効化量(t-CO2)	識別番号	排出量調整 無効化日
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
合計			0		

(注1)代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること。

※本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

**グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度による
二酸化炭素削減相当量
(令和〇〇年度実績)**

事業者名

営業地域名

グリーン電力証書

取得した電力証書の電力量(kWh)	グリーン電力証書による 二酸化炭素削減相当量(t-CO2)

※本表に記載した取得した電力証書の量については証書の写しを添付すること。

グリーン熱証書

取得した熱証書の熱量(MJ)	グリーン熱証書による 二酸化炭素削減相当量(t-CO2)

※本表に記載した取得した熱証書の量については認証されたCO2削減相当量の「償却・取消通知書」の写しを添付すること。

非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分)
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

非化石電源二酸化炭素削減相当量 = 取得したFIT非化石証書の電力量 × 全国平均係数 × FIT非化石証書補正率

取得したFIT非化石証書の電力量(kWh)	全国平均係数(t-CO2/kWh)	FIT非化石証書補正率	非化石電源二酸化炭素削減相当量 (t-CO2)
			0

※本表に記載した取得した非化石証書の量について、卸電力取引所より、当該非化石証書の口座保有量を証するものを書面にて入手の上、その写しを添付すること。

非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分)
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

非化石電源二酸化炭素削減相当量 = 取得した非FIT非化石証書の電力量 × 全国平均係数 × FIT非化石証書補正率

①取得した非FIT非化石証書

再エネ指定あり電力量(kWh)	
再エネ指定なし電力量(kWh)	
合計	0

②非化石電源二酸化炭素削減相当量

取得した非FIT非化石証書の電力量 (kWh)	全国平均係数(t-CO2/kWh)	非FIT非化石証書補正率	非化石電源二酸化炭素削減相当量 (t-CO2)
0			0

※本表に記載した取得した非化石証書の量について、卸電力取引所より、当該非化石証書の口座保有量を証するものを書面にて入手の上、その写しを添付すること。

固定価格買取・非FIT非化石電源調達による調整二酸化炭素排出量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

固定価格買取・非FIT非化石電気の調達による調整二酸化炭素排出量
= 固定価格買取・非FIT非化石電気の電力量 × 全国平均係数

①固定価格買取・非FIT非化石電気の電力量

固定価格買取の電力量(kWh)	
非FIT非化石電気の電力量(kWh)	
合計	0

②固定価格買取・非FIT非化石電気の調達による調整二酸化炭素排出量

固定価格買取・非FIT非化石電気の電力量(kWh)	全国平均係数(t-CO2/kWh)	固定価格買取・非FIT非化石電気の調達による調整二酸化炭素排出量(t-CO2)
0		0

再エネ電力由来J-クレジット等^(注)
 ・グリーン電力証書移転量
 (令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

再エネ電力由来J-クレジット等移転量 (t-CO2)	
グリーン電力証書移転量(t-CO2)	
合計(t-CO2)	0

(注) 通達別紙1に定めるJクレジット制度、国内クレジット制度、オフセット・クレジット制度による認証排出削減量をいう。

再エネ熱由来J-クレジット等^(注)
 ・グリーン熱証書移転量
 (令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

再エネ熱由来J-クレジット等移転量 (t-CO2)	
グリーン熱証書移転量(t-CO2)	
合計(t-CO2)	0

(注) 通達別紙1に定めるJクレジット制度、国内クレジット制度、オフセット・クレジット制度による認証排出削減量をいう。

電気及び熱に係るものを除くJ-クレジット等^(注)
移転量
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

電気及び熱に係るものを除く
J-クレジット等移転量(t-CO₂)

(注) 通達別紙1に定めるJクレジット制度、国内クレジット制度、オフセット・クレジット制度による認証排出削減量をいう。

温対法における特定排出者の他の者から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素排出量の算定等に用いられるメニュー別排出係数
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

【事業者別または営業地域別】(再掲)

【販売熱量(GJ)】	【二酸化炭素排出量(t-CO2)】	【二酸化炭素排出係数(t-CO2/GJ)】
販売熱量	一次基礎二酸化炭素排出量	/
0	0	
	基礎二酸化炭素排出量	基礎排出係数
	0	0.0000
	一次調整後二酸化炭素排出量	/
	0	
	調整後二酸化炭素排出量	調整後排出係数
0	0.0000	

【メニュー別】

メニュー	販売熱量(GJ)	メニュー別基礎二酸化炭素排出量(t-CO2)	メニュー別基礎排出係数(t-CO2/GJ)	メニュー別調整後二酸化炭素排出量(t-CO2)	メニュー別調整後排出係数(t-CO2/GJ)
メニュー-A	0	0	0.0000	0	0.0000
メニュー-B	0	0	0.0000	0	0.0000
残差	0	0	0.0000	0	0.0000
全体	0	0	0.0000	0	0.0000

※メニュー別排出係数について記入欄が不足する場合は別途、国に申し出ること(「残差により作成した係数」は最終行に設定するものとする)。

輸の製造に伴い排出されたメニュー別二酸化炭素排出量
(令和〇〇年度実績)

事業名称
事業地域名

○業務用排出係数

メニュー	燃料消費量(t油)	エンジン等による燃焼を主とする 大規模二酸化炭素排出量(t-CO2)	電気に係る国内総生産由来排出係数 (t-CO2)	熱に係る国内総生産由来排出係数 (t-CO2)	固定設備用熱・貯け貯り石電気の製造 による国内総生産由来排出係数(t-CO2)	電気に係る国内総生産由来排出係数の 等価量(t-CO2)	熱に係る国内総生産由来排出係数の 等価量(t-CO2)	電気が併用されるものを除く メタンガス等換算量(t-CO2)	メニュー別業務用二酸化炭素排出量 (t-CO2)	メニュー別業務用排出係数(t-CO2/t油)
Aメニュー		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
AメニューB		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
AメニューC		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
調整		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000

※メニュー別排出係数について記入欄が不足する場合は、別に申し出ることで「輸」における排出係数は業務用に設定するものとする。

○調整用排出係数

メニュー	燃料消費量(t油)	エンジン等による燃焼を主とする 大規模二酸化炭素排出量(t-CO2)	電気に係る国内総生産由来排出係数 (t-CO2)	熱に係る国内総生産由来排出係数 (t-CO2)	電気が併用されるものを除く メタンガス等換算量(t-CO2)	固定設備用熱・貯け貯り石電気の製造 による国内総生産由来排出係数(t-CO2)	電気に係る国内総生産由来排出係数の 等価量(t-CO2)	熱に係る国内総生産由来排出係数の 等価量(t-CO2)	電気が併用されるものを除く メタンガス等換算量(t-CO2)	メニュー別調整用二酸化炭素排出量 (t-CO2)	メニュー別調整用排出係数(t-CO2/t油)
Aメニュー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
AメニューB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0000

※メニュー別排出係数について記入欄が不足する場合は、別に申し出ることで「輸」における排出係数は業務用に設定するものとする。

排出量調整無効化等した国内及び海外認証排出削減量等
(令和〇〇年度実績)

事業者名

営業地域名

(表3)再エネ電気に係る自ら排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表3)再エネ熱に係る自ら排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表3)再エネ電気及び再エネ熱に係るものを除く自ら排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表4)再エネ電気に係る自らの代わりに他の者が排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表4)再エネ熱に係る自らの代わりに他の者が排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表4)再エネ電気及び再エネ熱に係るものを除く自らの代わりに他の者が排出量調整無効化等した国内認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表5)自ら排出量調整無効化等した海外認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表6)自らの代わりに他の者が排出量調整無効化等した海外認証排出削減量

	排出量調整無効化量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表7)グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度(グリーン電力証書、グリーン熱証書)

	グリーンエネルギーCO2削減相当量(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
グリーン電力証書	0			0
グリーン熱証書	0			0
小計	0	0	0	0

(表8-1)非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分)

	非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分)(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(表8-2)非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分)

	非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分)(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0			0

(注)非化石証書の利用上限判定

	非化石証書に係る二酸化炭素削減相当量の合計(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
二酸化炭素削減相当量	0	0	0	0
利用上限 (基礎排出量)	0	0	0	0
利用上限 (調整後排出量)	0	0	0	0

(注)グリーン電力証書、非化石証書の利用上限判定

	グリーン電力証書、非化石証書に係る 二酸化炭素削減相当量の合計(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
認証削減量 (基礎排出係数)	0	0	0	0
利用上限 (基礎排出係数)	0	0	0	0
認証削減量 (調整後排出係数)	0	0	0	0
利用上限 (調整後排出係数)	0	0	0	0

(合計)電気に係る国内認証排出削減量

	電気に係る国内認証排出削減量の合計(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
基礎排出係数	0	0	0	0
調整後排出係数	0	0	0	0

(合計)熱に係る国内認証排出削減量

	熱に係る国内認証排出削減量の合計(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0	0	0	0

(合計)電気及び熱に係るものを除く国内及び海外認証排出削減量

	電気及び熱に係るものを除く国内及び海外認証排出削減量の合計(t-CO2)			
		メニューA	メニューB	残差
小計	0	0	0	0

温対法における特定排出者の他の者から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素排出量の算定等に用いられる排出係数
(令和〇〇年度実績)

日付
事業者名
営業地域名

基礎排出係数(t-CO2/GJ) = (一次基礎二酸化炭素排出量 - 国内認証排出削減量調整無効化量^(注1) + 自らが製造した再生可能エネルギー熱に係る国内認証排出削減量を他の者に移転した量) ÷ 販売熱量

(注1)再生可能エネルギー熱に係るものに限る。

調整後排出係数(t-CO2/GJ) = (一次調整後二酸化炭素排出量 - 国内認証排出削減量調整無効化量^(注2) - 海外認証排出削減量調整無効化量) ÷ 販売熱量

(注2)電気に係る国内認証排出削減量等及び他の者に移転した国内認証排出削減量を除く。

【事業者別または営業地域別】

【販売熱量(GJ)】	【二酸化炭素排出量(t-CO2)】	【二酸化炭素排出係数(t-CO2/GJ)】
販売熱量	一次基礎二酸化炭素排出量	
0	0	
	基礎二酸化炭素排出量	基礎排出係数
	0	0.0000
	一次調整後二酸化炭素排出量	
	0	
	調整後二酸化炭素排出量	調整後排出係数
	0	0.0000
温熱販売熱量	温熱一次基礎二酸化炭素排出量	
	0	
	温熱基礎二酸化炭素排出量	温熱基礎排出係数
	0	0.0000
	温熱一次調整後二酸化炭素排出量	
	0	
	温熱調整後二酸化炭素排出量	温熱調整後排出係数
	0	0.0000
冷熱販売熱量	冷熱一次基礎二酸化炭素排出量	
	0	
	冷熱基礎二酸化炭素排出量	冷熱基礎排出係数
	0	0.0000
	冷熱一次調整後二酸化炭素排出量	
	0	
	冷熱調整後二酸化炭素排出量	冷熱調整後排出係数
	0	0.0000

【前年度報告との比較・分析】

販売熱量(GJ)	二酸化炭素排出量(t-CO2)	二酸化炭素排出係数(t-CO2/GJ)	差異分析
	(基礎二酸化炭素排出量)	(基礎排出係数)	
	(一次調整後二酸化炭素排出量)		
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)	